

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成22年度～平成26年度																				
事業実施地区名 (都道府県名)	東予森林計画区 (とうよ) 愛媛県	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、愛媛県東部に位置する区域面積116千haを対象とし、森林はその73%の85千haとなっている。国有林は、西日本最高峰の石鎚山を中心とする石鎚山地と、徳島県、香川県、高知県との県境付近にある佐々連尾山等にまとまって分布しており、面積は11千haで、森林面積の約13%を占めている。</p> <p>当計画区は、年平均気温15℃で、平均年間降水量は1,800mm程度であり、比較的温暖で雨量の少ない瀬戸内海式気候で、スギ、ヒノキを中心とした植林が行われており、人工林率は46%となっている。人工林の齢級配置は、8～11齢級の森林が約70%を占めており、長伐期化や複層林化を推進していく中で、高齢級化していく人工林についても適切な施業を引き続き実施する必要があり、あわせて、健全な山づくりを進めるための間伐の推進、木材利用の推進、林産物の供給等、持続可能な森林経営による地域振興への要請は高くなっている。</p> <p>一方当計画区の立地条件は石鎚山、瓶ヶ森、寒風山を中心とする山岳地域であり、特に加茂川上流域周辺は、天然林を広く保護する石鎚山系森林生態系保護地域にも指定されているとともに、貴重な野生動植物の広域化や相互交流に資する等、生物多様性保全のため「四国山地緑の回廊」石鎚山地区にも指定されている。このことから、国土の保全、水源のかん養に加え、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮、とりわけ自然環境の保全に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">・ 主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">31 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">481 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">3.50 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">2.50 (km)</td> </tr> <tr> <td>・ 総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">456,945 (千円)</td> </tr> </table>			・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	31 (ha)			保育面積	481 (ha)		路網整備	開設延長	3.50 (km)			改良延長	2.50 (km)	・ 総事業費			456,945 (千円)
・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	31 (ha)																				
		保育面積	481 (ha)																				
	路網整備	開設延長	3.50 (km)																				
		改良延長	2.50 (km)																				
・ 総事業費			456,945 (千円)																				
費用対効果分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">総 便 益 (B)</td> <td style="width: 70%; text-align: right;">1,805,148 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td style="text-align: right;">473,768 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">3.81</td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	1,805,148 (千円)	総 費 用 (C)	473,768 (千円)	分析結果 (B/C)	3.81														
総 便 益 (B)	1,805,148 (千円)																						
総 費 用 (C)	473,768 (千円)																						
分析結果 (B/C)	3.81																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化の防止対策、生物多様性の保全、国土の保全、水源かん養等の森林の有する多面的機能を健全に発揮させるため、森林の育成段階に応じた施業を予定している。 そのため、森林に対する国民の期待に応じ、森林を将来の世代に健全な形で引き継いでいくため、本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能を十分に発揮させるために有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

別紙様式7

整理番号 1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 事業実施地区名：東予森林計画区(とうよ)
 (都道府県名)愛媛県

事業実施主体：四国森林管理局
 愛媛森林管理署

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	254,693	
	流域貯水便益	106,658	
	水質浄化便益	150,437	
国土保全便益	土砂流出防止便益	336,364	
環境保全便益	炭素固定便益	104,319	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	—	
	利用増進便益	2,318	
	生産確保・増進便益	483,606	
	木質資源蓄積便益	65,712	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	96,733	
	治山経費縮減便益	67,014	
	森林管理等経費縮減便益	307	
	森林整備促進便益	136,987	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	—	
	維持管理費縮減便益	—	
総便益(B)		1,805,148	
総費用(C)		473,768	
費用便益比(B/C)		3.81	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成22年度～平成26年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	高知森林計画区 (こうち) 高知県	事業実施主体	四国森林管理局 高知中部・嶺北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、高知県中東部に位置する区域面積110千haを対象とし、森林はその71%の78千haとなっている。国有林は、物部川の上流部と鏡川の上流部、吉野川支流の穴内川上流部に広く分布しており、面積は14千haで、森林面積の約18%を占めている。</p> <p>当計画区は、年平均気温16.2℃で、平均年間降水量は2,222mm程度であり、比較的温暖多雨で林木の育成に適した気候下であり、スギ、ヒノキを中心とした植林が行われており、人工林率は49%となっている。このため、健全な山づくりを進めるための間伐の推進、木材利用の推進、林産物の供等、持続可能な森林経営による地域振興への要請は高くなっている。</p> <p>一方当計画区の天然林率も51%と高く、これらは、三嶺、石立山等周辺に分布し、地域を代表する多種多様な林相からなり、自然美の景観として優れているものも多く、学術上も貴重な森林であることから、国定公園、保護林、レクリエーションの森等にも指定されている。このことから、国土の保全、水源のかん養に加え、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮、とりわけ自然環境の保全に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p>														
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 	<table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>56 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>978 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.72 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.50 (km)</td> </tr> </table>	森林整備	更新面積	56 (ha)		保育面積	978 (ha)	路網整備	開設延長	7.72 (km)		改良延長	1.50 (km)	
森林整備	更新面積	56 (ha)													
	保育面積	978 (ha)													
路網整備	開設延長	7.72 (km)													
	改良延長	1.50 (km)													
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費 		783,667 (千円)												
費用対効果分析	<ul style="list-style-type: none"> 総便益 (B) 総費用 (C) 分析結果 (B/C) 		5,538,120 (千円) 907,269 (千円) 6.10												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化の防止対策、生物多様性の保全、国土の保全、水源かん養等の森林の有する多面的機能を健全に発揮させるため、森林の育成段階に応じた施業を予定している。 そのため、森林に対する国民の期待に応じ、森林を将来の世代に健全な形で引き継いでいくため、本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能を十分に発揮させるために有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目 (チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

別紙様式7

整理番号 2

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 事業実施地区名：高知森林計画区(こうち)
 (都道府県名)高知県

事業実施主体：四国森林管理局
 高知中部・嶺北森林管理署

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,567,880	
	流域貯水便益	621,149	
	水質浄化便益	876,112	
国土保全便益	土砂流出防止便益	971,613	
環境保全便益	炭素固定便益	320,982	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	—	
	利用増進便益	22,108	
	生産確保・増進便益	485,147	
	木質資源蓄積便益	275,153	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	162,279	
	治山経費縮減便益	208,602	
	森林管理等経費縮減便益	1,055	
	森林整備促進便益	26,040	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	—	
	維持管理費縮減便益	—	
総便益(B)		5,538,120	
総費用(C)		907,269	
費用便益比(B/C)		6.10	